



2024年7月17日

各位

会社名:フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(コード:8462 東証スタンダード市場)
代表者名:代表取締役会長兼社長 澤田 大輔
問合せ先:財務経理部長 西田 賢一郎
(TEL:075-257-2511)

ジャパンM&Aソリューション株式会社との業務提携に関するお知らせ

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社(本社:京都府京都市、代表取締役会長兼社長澤田 大輔、以下「FVC」)は、ジャパンM&Aソリューション株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 三橋 透、以下「JMA」)と業務提携契約を締結し、事業承継・地方創生問題の解決に取り組むことになりましたので、お知らせいたします。



1. 目的

日本の中小企業の後継者不足は深刻であり、中小企業庁の試算では、70歳を超える中小企業の経営者数は2025年までに245万人に増加し、うち半数以上の127万人が後継者未定とされています。現状のままでは廃業が急増し、2025年までの累計で約650万人の雇用、約22兆円のGDPが失われる可能性があると推計されています※。

FVCは、創業より日本各地で地域活性化に貢献すべく地方創生ファンドの運用を行ってまいりました。一方、JMAは、日本経済の課題となっている事業承継、地方創生問題を解決するため、『相談されたら断らない』という基本方針のもと、1件でも多くのM&Aに取り組んでおり、地域内で完結するM&Aにも力をいれています。今般、JMAと業務提携契約を締結し協働することで、事業承継、地方創生の新たな取り組みを行ってまいります。

具体的には、地域貢献意欲のある企業が地域外へ流出してしまう問題に対し、地方創生ファンドの育成支援・出口戦略で、地域内M&Aが選択肢となるよう、協働してEXITサポートを行うことで解決していきます。また、両社が保有する地域金融機関のネットワークを活用することで事業承継、地方



創生の強化につなげてまいります。さらに、協働して地方創生ファンド事業を推進することにより、新規事業取組によるビジネスチャンスを拡大するだけでなく、地域に根付いた事業基盤を構築することも目的としています。

※（中小企業庁「事業引継ぎガイドライン」改訂検討会（第1回）から参照）

2. 今後の見通し

本業務提携が、当社業績に及ぼす影響は軽微であります。

<ご参考>

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社（証券コード8462）

本社所在地	京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町 659 番地 烏丸中央ビル
代 表 者	澤田 大輔
設 立	1998 年 9 月
資 本 金	100 百万円
U R L	https://www.fvc.co.jp/
事 業 内 容	ベンチャーキャピタル業務

ジャパンM&Aソリューション株式会社 会社概要（証券コード9236）

本社所在地	東京都千代田区麹町三丁目 3 番 8 号
代 表 者	三橋 透
創 立	2019 年 11 月
資 本 金	255 百万円
U R L	https://jpmas.jp/
事 業 内 容	M&A アドバイザリーサービス

以上